



## 傘寿の「傘」に守られて

学校長 上野 仁 史

令和の風がそよぐ中、本校は傘寿の慶事を迎えることができました。本校は、昭和から平成へと力強い歩みを進めながら、数多の伝統をその道のりに刻んできました。この度、『芦屋八十年史』を発刊し、近年の生徒たちの活躍や特色ある学校教育活動をみなさまにお伝えすることができる機会に恵まれましたことに感謝いたしております。今日まで本校の発展を支えてこられた歴代の学校長をはじめ教職員、同窓生、PTAのみなさまに敬意を表するとともに、兵庫県・芦屋市の教育委員会等の関係各位、宮川町をはじめとする地域のみなさまに深謝申し上げます。

本年度、創立80周年を迎えるにあたり、「温故知新」の精神の大切さにふれながら、芦屋高校に集う者たちが、本校の魅力を再確認し、新たな歴史を重ねていく決心を固めています。本校は、昭和15年の芦屋市制施行と時を同じくして、兵庫県立芦屋中学校として創設されました。第二次世界大戦の激しい戦火に追われながらも苦難を乗り越え、昭和22年に現在の地に移転してきました。戦後の学制改革に伴い、昭和23年に兵庫県立芦屋高等学校として、改めて前途洋々たる未来に向かって漕ぎ出しました。昭和27年には夏の全国高校野球選手権大会を制覇し、多くの人々に勇気と感動を与え、芦屋高校の名を全国に轟かせました。「自治・自由・創造」の教育綱領のもと、生徒の自主性を重んじた教育活動を推進し、文武両道の精神を貫きながら、部活動や自治会活動、進路実績においても輝かしい成果をあげ、素晴らしい人材を輩出してきました。その良き伝統は現在にも受け継がれ、勉学に部活動にと勤んでいる生徒たちの姿は本校の誇りです。また、本校の歴史は芦屋の地とともにその時を刻み、未曾有の阪神淡路大震災からの復興も地域の方々と力を合わせながら進めてきました。その経験が、本校の防災教育やボランティアをはじめとした現在の地域貢献活動にもつながっています。

本年度、本校は学校経営のテーマとして、「予測困難な時代を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた力を備えた生徒の育成」を掲げ、生徒の自治会活動を生かした自由で柔軟な発想ができる生徒の育成を目指して教育活動を展開しています。ICTやAI等の情報技術革新やグローバル化による社会の進展等、世の中は日進月歩で変貌しています。そのような中、今年は、予測困難なできごとの一面を痛感させられたニュースが世界を震撼させました。新型コロナウイルス感染拡大により在宅での生活を余儀なくされ、オンライン学習等の新たな「知」のスタイルが一気に身近なものになりました。苦境の中で支え合って生きていく際に必要となる「徳」の大切さも身をもって感じました。オリンピック、パラリンピックの延期や各種スポーツ大会の中止が重なり、体力や免疫力をつけることに意識が高まり、「体」のありがたさにも気づかされました。これらのできごとを後世にも語り伝えながら、傘寿の「傘」の下、この苦しみ悲しみの雨風を凌ぎ、芦屋高校は今後も一歩一歩新たな歩みを進めてまいります。今後とも本校への変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

みなさまのご健勝をお祈りし、挨拶とさせていただきます。